

437) 爆睡

乗物での居眠りほど気持ちのいいものはないというのは、小生の以前からの持論なのでありますが、小生の場合、電車の中で居眠りするケースは、ほとんどが会社の帰りであります。小心者の小生は、とても朝っぱらから居眠りできるほど、肝っ玉が座ってないのでありまして、行きの電車で時々大イビキで寝ている御仁を見かけると、うらやましい限りなのであります。ところが先日ついに小生も、行きの電車の中で居眠りをしてしまいました。これが気持ち良いの何のって、もうこのまま何処へいつちまってもいいや、と思うぐらいに腰が抜けて、動けないほどになってしまったのであります。当然のことながら頭は朦朧で、終点の上野駅に到着したときには、電車がどちらの方向から走ってきたのかも分からないほどでした。ともかくエスカレーターに持たれながら階段を昇って、今度は山手線に乗り換えたのですが、どうも様子がおかしい。偉く空いているのであります。御徒町で地下鉄に乗り換えるつもりだったのだが、上野の次に到着したのは、なんと鶯谷の駅だったのであります。何処でどう間違えたのか、反対方向の電車に乗っていたのでありまして、その朝、一番の会議に遅刻したのは言うまでもありません。